

 評価のポイント

CL-1.看護実践能力：ケアする力

〔21-1〕侵襲的検査・治療の種類と特徴と看護ケアの検討

中心静脈カテーテル挿入で考えられる侵襲と危険に対して、対策を考えてみましょう。

超音波や X 線検査を利用した中心静脈カテーテル挿入時の血管の確認や、カテーテル留置後のカテーテル先端位置の確認が重要である（解剖学的位置の同定）。カテーテル挿入時と挿入後の出血の合併症を予防するために、事前の凝固能の評価や抗血小板薬、抗凝固薬の中止を徹底する。また検査前の説明や検査中の声かけ、不安軽減、鎮痛、検査後の精神状況観察も侵襲と危険に対する対策である。